

『文をつくりましょう』

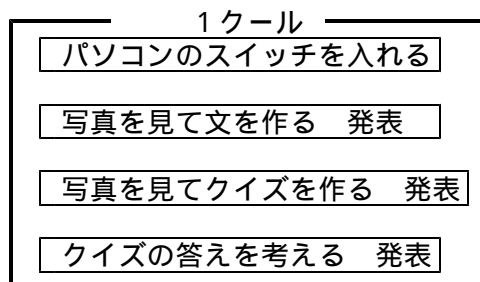
* 目標

- ・写真を見て、主語と述語を使った文が考えられる。
- ・写真を見て、クイズを考えることができる。

* コンピューターを活用する利点

ひとり一台のパソコンの画面に写真を映すことにより、ひとり一人が写真の内容を身近に見ることができるので、文が作りやすい。また、みんなが一度に同じ写真の内容を共有できるので、友達の内容に対する理解がしやすいし、また、クイズを考えたり、それに答えたりもしやすい。

* 授業の流れ



これを、時間まで、何クールか繰り返す。

* ICT活用場面

パソコンに初めて触れる児童もいると考えられるのでパソコン使用のルールやマナー、パソコンルームの使い方などもしっかり伝えておきたい。また、パソコンを使っているいろいろなことができるということを知らせ、興味関心を引き起こしたい。・・・年間通して。

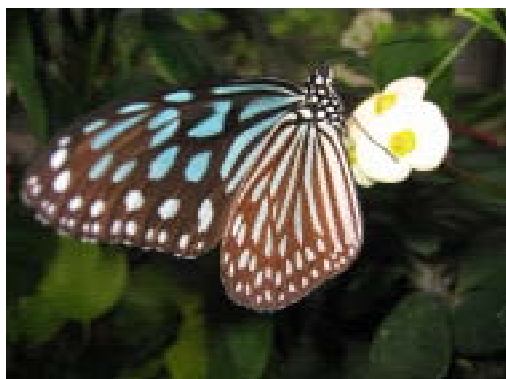
1年ということもあり、パソコン操作自体が複雑となつて、授業のさまたげにならないように気をつけたい。写真を一齐に各パソコンに流して、一齐に文を考えさせる。写真はできるだけ文が作りやすいようにと考え、場面設定がはっきりしているもの、色や特徴が写真として明らかなものを選んだ。それにより、主語・述語の文づくりを中心とするが、写真の特徴をいかして、もっと文を詳しくする言葉を探させたい。そのことで、授業が単調にならないように工夫したい。そして、クイズづくりもみんなが興味をもって取り組めるようにしていきたい。

* 成果と課題

子どもたちは、それぞれ自分の前のパソコンに写真が映し出されるので、じっくりと集中して写真を見て、文づくりに取り組むことができた。又、友達が作った文の内容が、目の前の写真ですぐ確かめられるので、わかりやすく共感できていた。視覚的な写真を利用したので、色・形・特徴などの言葉化がスムーズにいき、又、詳しくしていく言葉もたくさんでてきた。写真の内容を共有化することにより、クイズを出す方も答える方も考えやすく、とても盛り上がった。

文づくりの時、まだ、ワープロ打ちなどできないのでノートを使いたかったが、消しゴムが使えないので文を忘れてしまう子がいて、残念だった。また、言葉の入力ができない学年での記録の仕方に課題が残った。

* 写真の例



* 文の例

ちょうが、とまっている。

白と青がまざったちょうが、とまっている。

白と青がまざったちょうが、白い花にとまっている。

白と青がまざったちょうが、ゆっくりと白い花にとまっている。

* 使用機器

ノートパソコン29台、自作写真20枚
パソコン教室